「横浜ユニバーサルツーリズム事業」

について

令和２年８月31日



１．事業の目的

障害等の有無や年齢にかかわらず、すべての人が安心して旅行を楽しめる都市・横浜を目指し、関係団体や事業者と連携して、受入環境の向上やプロモーションを実施すること。

※ユニバーサルツーリズム

ユニバーサルツーリズムとは、すべての人が楽しめるよう創られた旅行であり、障がい等の有無や年齢にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行を目 指しています。 ＜観光庁のWebページより抜粋＞

２．背景

（１）社会的要請への対応

* 障害者差別解消法の施行
* バリアフリー法
* 東京2020パラリンピックの開催

～IPCアクセスビリティ作業部会設置

（２）観光需要の変化への対応

* 超高齢社会
* SDGs ～アクセシブルでインクルーシブな社会的基盤やサービスの実現

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **言語** | **文化** | **年齢** | **障害** | **性別** | **その他** |
| **対象例** | 訪日外国  人等 | ムスリムベジタリアン等 | 、高齢者、 子育て世代等 | 肢体不自由者、視覚障害者、 聴覚障害者等 | LGBT  等 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **多言語対応強化事業** | | **多文化に対応した受入・誘客事業** |  |  |  |  |  |
| **ユニバーサ**  **推進事業** | **ルツーリズム** |  |
|  | |  |  |
|  |  | **横** | **浜 お も て** | | **な し 事 業** |  |
|  | |  |  | |  |  |

**受入環境向上**（ソフト面での改善）

・バリア情報の調査・集約

・人材育成、気運醸成

・相談機能強化

・コーディネート機能の強化

**誘客**（需要の創出）

・集約情報の発信

・全国の旅行会社等へのセールス活動

４．事業の概要（ロードマップ）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **年度**  **分類 ＼** | **H29** | | **H30** | | **H31（ラグビーW杯）** | | **R2** | | **R3 （オリ・パラ）**  **以降** |
| テーマ | 「実際に楽しめる横浜」の  発掘 | | 調査とPRの徹底 | | ＵＴ情報の多言語化と  蓄積情報活用 | | 蓄積情報活用 | | 民間主導のUT促進  事業者連携強化 |
| 実施主体 | 横浜市 | | **ＹＣＶＢ** | | **ＹＣＶＢ** | | **ＹＣＶＢ** | | **ＹＣＶＢ** |
| 情報集約・  調査 |  | | ■市内ホテルの  対応状況調査 | | ■観光施設の対応状況  調査 | | ■ニーズ等旅行商品造  成への課題調査  ■バリアフリー対尾状況更新 | | ■バリアフリー情報  更新 |
|  | ■モデルコース①策定 |  | ■モデルコース②策定 |  | ■モデルコース①② |  |  |
| 情報発信・プロモーション |  | （都心臨海部） |  | （新横浜） |  | 【英訳】 |  | ■バリアフリー情報ペー | ■バリアフリー情報ページ活用  ■プロモーション  ■商品造成にむけたセールス |
|  | | ■ウェブアクセシビリティ   * RWCに向けたセールス   ■モデルコース①日本語印刷 | | ■バリアフリー情報ページ  新設  ■モデルコース①英語印刷②日本語・英語印刷 | | ジ活用 | |
| 人材育成 | ■研修（概論） | | ■研修（概論、横浜現状） | | ■研修（パラスポーツに学ぶ） | | ■研修 | | ■研修（オリ・パラ特化） |
| 相談窓口機能、コーディネート機能 |  | | ■案内所への情報徹底 | |  | |  | | * YCVBのコーディ   ネート機能強化  （BtoB） |

（１）アクセシビリティ対応状況調査

(2) 関係団体ヒアリング

1. モデルコース策定とマップ製作（日・英）
2. ウェブサイトでの情報発信
3. セミナー開催
4. 商品造成に向けたセールス

（1）アクセシビリティ対応状況調査

|  |
| --- |
| **横浜市内観光関連施設アクセシビリティ対応状況調査** |
| **1.目的** |
| 横浜市内の観光関連施設を対象に、高齢者や障がい者、外国人、乳幼児等あらゆる人に快適な横浜観光を  提供するために、どんな人にも利用しやすい施設情報（アクセシビリティ）を調査することを目的とする。 |
| **2.調査期間** |
| 2019年11月1日～2019年12月31日 |
| **3. 調査対象** |
| 横浜市の高い来客動員実績のある主要な観光施設、商業施設、文化施設、スポーツ施設、海上遊覧施設  （109施設） |
| **3. 調査手法** |
| 現地調査及びWEBによるアンケート調査   * 109施設内訳   １）アンケート調査対象施設 109施設  ２）現地調査対象施設 54施設 |
| **４．回収状況** |
| １）アンケート回収数：97票（回収率：89.8％） |

（1）アクセシビリティ対応状況調査 モニター調査



MARK IS 多目的トイレ視察

MARK IS みなとみらい屋上の「みんなの広場」視察

 

オービィ横浜見学調査 マリーンシャトル乗船調査（スロープの確認）

（2）関係団体ヒアリング

**公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会**



**横浜市立若葉台特別支援学校**



（3）モデルコース策定とマップ製作（日・英）

Ａ 桜木町～元町中華街

B 新横浜～元町中華街

 

５．取組

（4）ウェブサイトでの情報発信 https[://w](http://www.welcome.city.yokohama.jp/accessibility/)ww.[welcome.city.yokohama.jp/accessibility/](http://www.welcome.city.yokohama.jp/accessibility/)

（5）セミナー開催



電動車いすサッカー元日本代表 野田氏による講演



日本財団パラリンピックサポートセンター職員／ 東京2020出場を目指すパラアスリート 山本氏による「あすチャレアカデミー

（5）セミナー開催 メディア掲載実績

『ニュースLINK』 』(テレビ神奈川）



『**【デイリージェイコム】デイリーニュース 横浜**』（ジェイコム/CATV）



（6）商品造成に向けたセールス

**令和**2**年度**

**修学旅行誘致促進事業助成金・団体旅行助成金**



# 訪れるすべての方々が

安心して快適に楽しめる横浜を目指して！



16